

穂 学

平成29年度

広州日本人学校学校便り

[No. 10]

平成29年12月6日(水)

発行責任者 教頭 渡邊美佐子

多くの体験は多くの方々に支えられて

校長 丸本 互

早いもので今年も師走を迎えました。教師も走るほど忙しい12月ですが、子どもたちは寒さに負けずに学校生活を元気に送っています。

11月10日には、小学部1年生と2年生が正佳広場にある水族館に校外学習で出かけました。ビルの中にこんなにも大きな水族館があることに驚かされました。白鯨やアシカなどの大きな生き物もいて、子どもたちも興奮しながら見学していました。

同じ日の午後には、日本航空様のご協力により小学部6年生を対象に、航空教室が行われました。現役のCAさんからお話を伺ったり、紙飛行機を作って飛ばしたり貴重な体験をさせていただきました。

11月16日から1泊で、小学部5年生が中山宿泊体験学習に出かけました。孫文の生まれ故郷である中山市。実際に生活していた家を見学し、中国の歴史に触れることができました。その後は、キリンビール工場を訪問し、中国の美味しい水を使って日本と変わらないビールを製造している様子を見学させていただきました。果樹園やクッキー作りを体験する中で、教室ではなかなか触れ合うことができない友だちとも関わり、友情を深める事ができました。1泊2日という短い体験でしたが、記録をしっかりと取るなど、前向きに学習に取り組む姿や友だちとの会話の中で友情を深めている様子が、いろいろな場面で見られた2日間となりました。

11月22日には、小学部1年生と2年生を対象に、ヤマト運輸様のご協力により交通安全教室を開催させていただきました。日本では車は左側通行ですが、この中国では右側通行であること。そして、横断歩道を渡るときには、信号が青になってから「左、右、左」を確認し手を上げて渡ることを教えていただきました。手作りの自動車や自転車を実際に使いながら、分かり易く説明していただいたので、子どもたちもしっかりと理解できたようでした。街中で、絶対に事故に遭うことの無いよう気を付けて欲しいと思います。

同じ日に、中学部の3年生は、隣りにあるオイスカ幼稚園に保育実習に出かけました。小さな子どもたちに多少戸惑いながらも、丁寧に笑顔で対応していたのが印象的でした。いろいろなゲームや紙芝居なども用意して、楽しい時間を過ごしました。

多くの行事が行われましたが、いろいろな企業の方々にお力添えを頂き、子どもたちの安全や生活力向上のためのサポートをしていただいています。

日本の学校以上に多くの体験ができる日本人学校で学ぶ子どもたちは、この体験を活かして大きく羽ばたいて欲しいと思っています。

12月23日からは、10日あまりの冬休みに入ります。体調を崩すことなく、1月5日からの3学期を迎えることができるよう、ご家庭でもお過ごしいただければと思います。

今年1年、ご理解ご協力を頂きありがとうございました。

